

民生委員・児童委員の活動について

地域住民の一員として、住民からのさまざまな生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、適切な支援やサービスへの『つなぎ役』としての役割を担っています。また、さまざまな地域の方々の居場所づくりなどにも取り組んでいます。

心配ごと 悩みごと相談

地域住民の高齢者や障害をお持ちの方へ支援が必要なおとき、子育てや介護での心配ごとや不安があるときに、地域住民の皆さんと同じ立場で相談に応じています。



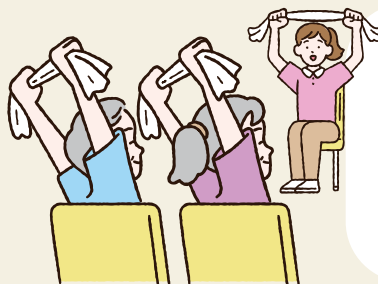
訪問活動

高齢者の方が安心して生活できるように、担当区域の高齢者世帯などへの家庭訪問や地域の見守りをおこない、住み慣れた場所で生き生きと過ごせるよう活動しています。



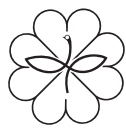
サロン活動

高齢者の居場所づくりや仲間づくり、地域コミュニティへの参加を促すことを目的にサロンを開いて、活動を行っています。



こども食堂や 学習支援

子どもの孤食防止や居場所づくりを目的に栄養満点の食事を提供しています。食事の他にも宿題をしたり、ボランティアと触れ合う、多世代の交流の場にもなっています。



詳しく知りたい 民生委員・児童委員のこと

民生委員・児童委員は、法律により厚生労働大臣から委嘱された無報酬のボランティアで、地域住民の立場にたって、まちの福祉を担っています。なお、活動に必要な費用（電話代・交通費など）の一部は活動費として支給されます。

民生委員・児童委員ってどういう人なの？

民生委員・児童委員は、担当する地域の身近な相談相手として、地域住民からの生活上の心配ごとや困りごと相談に応じています。専門的な技能や資格を持っているわけではありませんが、相談内容に応じて、適切な支援やサービスにつなぎ、課題が解決するよう寄り添います。そのため、行政や社会福祉協議会・学校など、さまざまな機関と連携して活動をおこないます。

誰がなっているの？

民生委員・児童委員は、市の推薦会において地域住民の中から社会福祉に熱意のある方が選ばれます。任期は3年で、3年おきに全国で一斉改選が行われます。なお、住民の個別の相談に応じるため、法による守秘義務があるので秘密を守れる方をお願いしています。

迷ったら、まず「支援員」から

神戸市独自の制度として、高齢者見守りや地域活動などで民生委員のお手伝いをしていただく神戸市民生委員支援員制度があります。民生委員がおこなう、見守り活動や地域福祉活動などに加わって活動をおこないます。

あなたも参加してみませんか

すべての民生委員・児童委員、民生委員支援員は、地区民生委員児童委員協議会に属し、多くの仲間とともに協力しながら活動します。そのため地域活動に慣れていなくても安心して活動できます。地域活動に参加してみたい、地域の役に立ちたい、地域福祉に興味があるなど、みんなで一緒になって地域福祉を盛り上げていただく方をお待ちしております。

その他のことはお住いの民生委員・児童委員
もしくは各区役所保健福祉部へお尋ねください。

神戸市 民生委員・児童委員

検索



身近なみんなの相談役

地域福祉を支える 民生委員・児童委員

あなたもなってみませんか？



「なってよかった」 民生委員・児童委員の声

現在、民生委員・児童委員として活動している、神戸市9区の方々から活動に対する想いや、やりがいを語っていただきました。

民生委員の情報は、2023.9.1時点

西区

民生委員には研修の機会が多くあります。その学びの場を通じて地域の課題が見えてきます。自治会などでは短いと1年任期で交代しますが、委員活動は1期=3年あるので、地域のカラーもよくわかってきます。井吹台は若い世代や子どもが多い地域。保護者不在の昼間に災害が起こった際の対策なども含めて、みんなが安心して暮らせるように当事者の立場でお手伝いができます。他団体と得意分野を活かし合い、「民生委員をやってよかった」というやりがいを感じていただきたいです。



井吹台地区民児協会長(西区民児協会長) 坂本 津留代さん

北区

民生委員のみなさんとは面談の機会を設けながら、無理せず長く活動を続けてもらえるように配慮しています。活動の中で委員一人ひとりが変わっていく姿を見られることや、未来を担うこれからの人をみんな育てていけることが醍醐味ですね。地域のカフェ運営や高齢者の見守りなどが中心の活動ですが、「活動を楽しみましょう」と周囲に伝えています。こちらの楽しさは、きっと相手に伝わります。今後は、子どもの学習支援の場作りにも取り組んでいきたいです。

藤原台地区民児協会長(北区民児協会長) 市橋 祐子さん



東灘区

これまで仕事一筋だった私ですが、御影北部地区民児協会長としてもう3期目。生まれ育った場所で何か恩返しをしたいとの想いで始めたのがきっかけでした。主な取り組みは、普段の生活を通じた高齢者の見守りや子育て支援など。共に活動する民生委員には就労している方も多いのですが、なんと欠員が出たことはないんです。一番大切なのは、みなさんに無理せず長く続けてもらうこと。定例会の開催も柔軟に対応するなど、連携をしっかりと取ることを心がけています。

御影北部地区民児協会長 増谷 充啓さん



灘区

灘区の民児協活動のICT化に市内でも先駆的に取り組み、タブレット端末を導入しました。コロナ禍でも画面越しで話し合いをしたり、行政情報の提供会やミニ講座の配信をしたりと、地域活動に役立てています。研修で学ぶ機会が多いのも魅力です。直近では「新こべっこランド」を視察して子育て世代の思いなどを考える機会となりました。定例会、給食会、見守り活動などが活動の中心ではありますが、身体の不自由な方に対するケアも課題にしています。

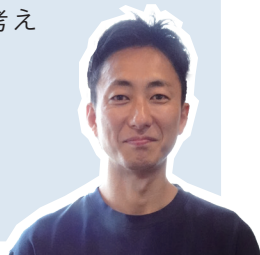
摩耶地区民児協会長(灘区民児協副会長) 浅本 芳子さん



垂水区

長く主任児童委員を務めていた父の思いを引き継げたらと、令和4年より生まれ育った垂水で活動を始めました。私自身5人の父であり、こども食堂の活動を行っていますが、自分の時間で無理せず参加することができ、活動しやすいなと感じています。今後は子どもたちが集える場所を掲載した情報誌の作成や、地域の子どもをサポートできる包括的な居場所作りが目標。傍観者ではなく地域の皆さんを巻き込みながら、この町をより良い場所にしていきたいと考えています。

明舞地区民児協主任児童委員 吉川 大さん



長田区

小さな頃から、民生委員だった父親のさまざまな活動を見て育ちました。私が担当区域を引き継ぎ、もう30年以上になります。高齢化が進む地域でもあり、地域の人々が抱える日常生活上の問題を親身になって解決することが主な活動内容。「この人が自分の家族だったら？」と考えて、役所に同行することもあります。もちろん、民生委員へのケアも大切です。人の話を受け止めた後は、それを吐き出す場所をきちんと設けて、心をリセットしてもらえるように心がけています。

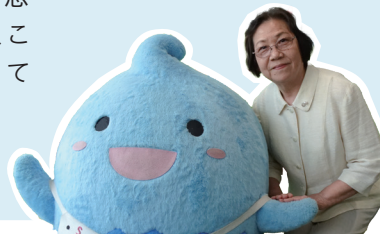


真陽地区民児協会長(長田区民児協会長) 中田 裕康さん

須磨区

民生委員の打診を受けたのは、小学校のPTA副会長をしていた頃。引き受けた理由は老親の介護や子育てをしながらでもできる活動であることと、「誰かの役に立てるなら」という想いからでした。現在は地域の関わりが希薄になってきていますが、他団体と協力しながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。民生委員の活動は、ほんの少しの思いやりがあればできるものばかり。人のために動くことは、お金にはかえられない貴重な経験だと感じています。

東部地区民児協会長(須磨区民児協副会長) 笠原 かよ子さん



兵庫区

私自身の子どもを地域の方に支えていただいた経験や、中学校のPTA役員を担っていたこともあり、子どもが高校生になったタイミングで主任児童委員を引き受けました。最初はやはり手探りでしたが、主に0~2歳のお子さんと保護者が気軽に立ち寄れる「おやこふらっとひろば」などを通して、お母さんの声に耳を傾けています。子育て世代のコミュニティの場をさらに広げていくことを目標に、退任時には「楽しかった!」と思えるよう積極的に取り組んでいきたいです。

平野地区民児協主任児童委員 乾 由美さん



中央区

「お母さんをサポートすることで、母も子ども笑顔になる」。これは主任児童委員になって実感したことの一つです。子育て世帯の多い地域ですので、子育てで孤立しがちな親のために地域ぐるみで相談に乗り、必要な情報を提供したり、ときには関係機関へつないだり。子ども食堂や料理教室など、子どもたちのためのイベントを開催することもあります。地域の親子が笑顔になり、子どもたちから元気をもらえる。そんな喜びを感じられる、やりがいのある活動です。

生田地区民児協主任児童委員 村中 尚子さん

